

◆花の匂いはだれのため

新緑の季節、公園の中を歩いていて、ふと花の匂いに気づくことがあります。

甘くていい匂いがするのは、トベラ(甘い匂い) チョウジガマズミ(甘い香水の匂い)、カラタネオガタマ(パナナのような匂い)、スイカズラ(甘い匂い)などです。

一方で、鼻をふさぎたくなるようなくさい匂いは、ハマヒサカキ(ガスの匂い)、ヘクソカズラ(名前の通り臭い匂い)、クサギ(ビタミン剤の匂い)などがあり、その匂いは強烈なものばかりです。

では植物にとって花の匂いにはどんなねらいがあるのでしょうか。

その大きなねらいは、虫を呼ぶためです。虫が花粉を遠くに運び、実や種を作るのを助けてくれるからです。植物は呼びたい虫に合わせてその虫の好きな匂いを作っています。たとえば、スイカズラではスズメガのように口がストローのように長い虫を呼ぶために、長い花の筒の根元に蜜をため、特別にその虫たちを呼びます。他にも、夜に咲くカラスウリの花は、強い匂いを出して夜に活動するガなどを呼びます。また昼間咲く花は昼に活動するチョウやハチなどを呼ぶために、それぞれ色々な化学物質を混ぜ合わせ固有の匂いの成分を作ります。

一方、虫たちもタダで花粉を運んでいるわけではありません。栄養満点の蜜や花粉を自分たちの食事として受け取ります。植物と虫たちはお互い共存関係にあるのです。

花の匂いには、人があまり好まないものもありますが、どんな匂いも虫たちにとってはいい匂いなのです。

トベラとセイヨウミツバチ

「ようこそ花のレストラン」より



スイカズラ

◆人にも役立つ植物の匂い

植物の匂いは、花だけでなく葉や枝からも発散されます。私たち人間にとっても、匂いは快適に生活するために必要なものです。そして、食べる時にも美味しさを左右する大事な要素となります。

たとえば、カモミールやローズマリーやミントなどは、ハーブティーとしてお茶にしたり、ゲッケイジュは乾燥して香辛料にしたりします。また、ヒノキのようなリラックス効果のあるものは、入浴剤やアロマオイルとして、クスノキは、防虫剤(樟脳)としてなど、私たちの生活に深く関わっています。

匂いに限りませんが、植物には私たちが癒し健康に導く力があるのです。特に、健康のために森に入る新しい森の楽しみ方が「森林セラピー(森林浴)」として科学的に認められています。

学習館では、様々な花の匂いをモイストポプリにして、展示しています。



【今月の行事】

- 10日(金) 季節の植物観察会
- 11日(土)・25日(土) 木や竹・木の実を使った工作
- 12日(日) 昆虫観察会
- 18日(土) 野鳥観察会
- 26日(日) 花の観察会

自然観察学習館

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1

TEL:06-6877-6923

✉ アドレス: expo70gakusyu@cronos.ocn.ne.jp